

# 「財務応援Ai 社会福祉法人」機能アップ版 概要(Ver.1.20)

「財務応援Ai 社会福祉法人」Ver.1.20で予定されている対応内容についてご案内致します。  
尚、商品リリースの際、機能等が若干変更される可能性がありますので、予めご了承ください。

## 1. データの利用について

### データ移行バージョン・・・Ver.1.00以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

#### 従来バージョンとのデータ互換性

財務応援Ai 社会福祉法人 Ver.1.20のデータは、従来バージョンのデータと互換性がありません。（バックアップ/リストアやファイル変換ツールでやり取りすることはできません）

バージョンアップを行うと、従来バージョンのデータが自動的に Ver.1.20用にコンバートされます。

Ver.1.20用にコンバートされたデータは、Ver.1.20より前のバージョンがインストールされているPCに戻すことはできません。

#### ブランチとのデータ互換性

財務応援Ai ブランチとの連動を行っている場合で、財務応援Ai 社会福祉法人を Ver.1.20にバージョンアップする場合は、ブランチについても、Ver.1.20にバージョンアップする必要があります。

## 2. 厚生労働省が定める帳表フォームへの対応

以前からご要望をいただいていた以下の項目において、厚生労働省が定める帳表フォームに対応致します。  
表中の内容がバージョンアップ後の仕様です。（空欄は従来の仕様と変わらない項目です）

	社会福祉法人 会計基準	指導指針	社会福祉協議会	授産施設会計基準
<b>【資金収支計算書】</b>				
帳表見出し			予算額/決算額/差異 /備考 に変更	
合計科目	縦見出しに変更	左記に同じ	左記に同じ	左記に同じ
<b>【事業活動収支計算書】</b>				
帳表見出し		前年度/当年度/増減 /備考 に変更	当年度決算額/前年 度決算額/増減/備考 に変更	
合計科目	縦見出しに変更	左記に同じ	左記に同じ	左記に同じ
備考欄		あり	あり	
<b>【貸借対照表】</b>				
帳表見出し		前年度/当年度/増減 に変更		
資産の部と負債・ 純資産の部の並び	横並びに変更	左記に同じ	左記に同じ	左記に同じ
<b>【資金収支予算内訳表】・【資金収支決算内訳表】・【事業活動収支内訳表】</b>				
合計科目	縦見出しに変更			縦見出しに変更

### 3. システムの変更内容

厚生労働省が定める帳表フォームに対応するために、以下の3点を変更します。

#### (法人) 決算報告書情報画面の変更

[設定(その他)]タブの[14.法人決算報告書情報設定]画面、[26.決算報告書情報設定]画面に、次の項目を追加します。

・ <資金収支計算書の金額列位置>	左：当期 右：前期 / 左：前期 右：当期
・ <事業活動収支計算書の金額列位置>	左：当期 右：前期 / 左：前期 右：当期
・ <貸借対照表の金額列位置>	左：当期 右：前期 / 左：前期 右：当期
・ <資金収支予算書・計算書の備考欄>	あり / なし
・ <事業活動収支計算書の備考欄>	あり / なし

#### (法人) 決算報告書出力設定画面の変更

[予算・事業別・決算]タブの[32.決算報告書(A4)]メニュー、[33.法人決算報告書(A4)]メニューを選択した際に表示される「決算書出力条件設定」画面に、次の項目を追加します。

・ <固定フォーム出力>	する / しない
--------------	----------

「固定フォーム出力：する」を選択すると、次のように帳表が出力されます。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金収支予算書</li> <li>・ 資金収支計算書</li> <li>・ 事業活動収支計算書</li> <li>・ 貸借対照表</li> </ul>	}	帳表の見出しが縦見出しになります。
	→	資産の部と、負債・純資産の部が横並びになります。 帳表の向きは、A4 横です。

#### 月次業務タブの内訳表の処理条件指定画面の変更

[月次業務]タブの各内訳表の処理条件指定画面に、次の項目を追加します。

「固定フォーム出力：する」を選択すると、帳表の見出しが縦見出しになります。

・ <固定フォーム出力>	する / しない
--------------	----------

項目が追加されるのは、次のメニュー画面です。

- ・ [ 33.事業活動収支内訳表 ]
- ・ [ 35.資金収支決算内訳表 ]
- ・ [ 36.資金収支予算内訳表 ] (以上、決算業務・・・会計単位)
  
- ・ [ 43.事業活動収支内訳表 ]
- ・ [ 45.資金収支決算内訳表 ]
- ・ [ 46.資金収支予算内訳表 ] (以上、法人決算業務・・・法人単位)

## 4 . 動作環境

システムの動作環境は以下のとおりです。

使用環境	スタンドアロン 2 ユーザー版、プランチ	3 ユーザー版以上のネットワーク版	
		クライアント	サーバ (*5)
OS	Windows®XP/Windows®2000Professional(*1)	Windows®2000Server Windows Server™ 2003	
メモリ	128MB 以上	256MB 以上	
CPU	お使いのOSが推奨する環境以上		
データベース (*2)	MSDE 容量制限 2GB	SQL-Server2000 SP3	
HDD (*3)	空き容量 500MB 以上	空き容量 500MB 以上	空き容量 1GB 以上
ディスプレイ	解像度:1024×768 ドット(小さいフォント)以上 WindowsXPの場合は標準フォント 表示色:high Color(16Bit)以上		
ブラウザ (*4)	Microsoft® Internet Explorer 5.0 以上		
バックアップ装置	DAT ドライブを推奨 (*6)		
プリンタ	上記の対応 OS で使用可能な A3 対応レーザープリンタ (ポストスクリプト対応プリンタは除きます。)		

(\*1): サーバが Windows®2000Server の場合のみ、クライアントで Windows®98 も使用可能です。

(\*2): Microsoft SQL Server (または MSDE) はバンドル版です。バンドル版は財務応援 Ai 以外で使用することができません。

(\*3): 管理ファイル(登録データ)の容量は除きます。

(\*4): 対象ブラウザがセットアップされていないと、財務応援 Ai をインストールすることができません。

(\*5): サーバの基本ソフトが Windows Server 2003 Standard Edition の場合は、サーバにおける操作を、財務共通処理の <データベース管理> および <ライセンス設定> に限定させていただきます。Windows 2000 Server の場合は、SP3 以上になっている必要があります。

(\*6): バックアップに十分な容量であれば、基本ソフトで使用可能なその他の装置でも構いません。ただし、トラブル解析等でデータを預からせていただく場合には、DAT を対象にさせていただきます。

## 5 . プロダクトIDについて 1ユーザー版およびプランチ版のみ

プログラムのセットアップ(インストール)時にプロダクトIDを入力していただきます。プロダクトIDは製品固有の24桁の数字で、同一のプロダクトIDは存在しません。1つの製品を複数のコンピュータにセットアップされた場合、2台目以降では、別のプロダクトIDを入力されるまでプログラムの起動ができなくなります。2台以上のコンピュータにプログラムをセットアップする場合は、使用するコンピュータ分のプログラムが必要です。

プロダクトIDが記載されたラベルは、CD-ROMのケースに貼られます。詳細は改版商品に同梱のご案内(手順書)をご参照ください。

### 【著作権・使用許諾契約について】

プログラムを使用するには、著作権法及び使用権許諾契約により、1台のコンピュータにつき1ライセンスの使用許諾が必要です。